

鳥取地球人クラブ



「ベトナムに行く」写真展

平成27年8月31日(月)～9月11日(金)



今年4、5月戦争終結40周年に湧くベトナムを訪れました。大地に転がったままの戦車やアメリカ軍の爆撃によって地上にぽっかりと空いた穴等、今なお戦争の傷跡は生々しく残っています。そんなベトナムを逍遙しながら撮りためたスナップ写真をまとめてみました。遠く離れた日本からベトナムの風を感じていただければ幸いです。



「ベトナムに行く」写真展にあたって

鳥取地球人クラブ代表 野村 和

今年4、5月、戦争終結40周年に湧くベトナムを訪れました。戦争に関する遺跡や戦争被害者等を想い返し、ベトナム戦争について、自分自身、思い出す旅でもありました。大川に断がったままの戦車やアメリカ軍の爆撃によって地面にぽっかりと空いた穴等、今なお戦争の傷跡は生々しく残っています。また、実際に戦闘に巻き込まれた兵士から当時の話を伺い、その姿まじかに鑑賞しました。これらの報告会や学習会をすることで、近代国際政治史等の学びを深めることができました。

戦争遺物は、ベトナム各地に散らばっているとはいえ、今ベトナムは、急激な経済発展を遂げています。首都ハノイは、高層ビルの建設ラッシュと車下で販売する生野菜の屋敷に包まれています。また、道路の乗り物として、数え切れないほどのバイクが、町の隅々まで雑音を轟かせながら走っています。

ただ、ひとときが例外一足を伸ばすと、そこには昔ながらの伝統的なベトナムの暮らしが残っています。田舎で汗を流す女性、悠久のメコンの岸に舟を停める漁夫等の庶民と触れ合い笑顔を交わすことができます。また、太古の歴史を今にたどる古銅器からは、奥深い歴史の香りが漂います。

そんなベトナムを逍遙しながら、撮りためたスナップ写真をここにまとめてみました。遠く離れた日本からベトナムの風を感じていただければ幸いです。